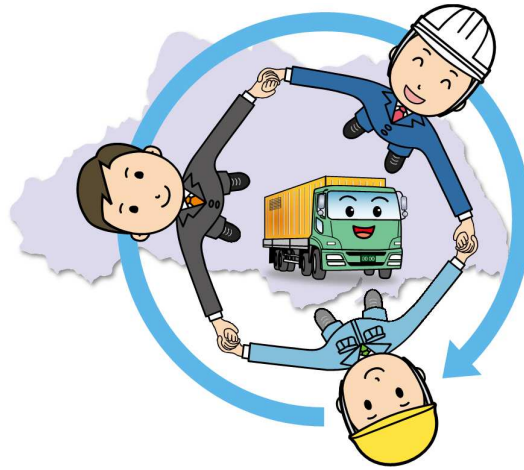


埼玉県コンテナラウンドユース推進の取組



平成28年10月20日 埼玉県 都市整備部 都市計画課

SCRUの取組

日本一の交通の要衝 企業立地が進む埼玉



東日本の大動脈「東北」・「関越」・
「常磐」自動車道が南北に縦断

既存の高速道路と連結する「外環道」・
「圏央道」が東西に横断

過去10年間の企業転入超過数
全国1位 1324社 (H14~H23の10年間)

物流・保管施設候補地
全国1位 (H26)

工場候補地
1位海外 2位愛知県 **3位埼玉県**



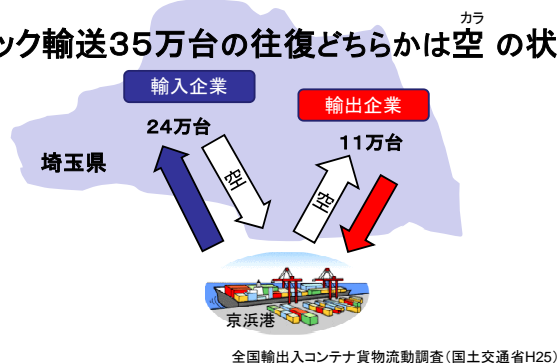
出展 株式会社データバンク資料

埼玉県を取り巻く国際海上コンテナ物流の現状

現状

①非効率な物流

トラック輸送35万台の往復どちらかは空の状態



②物流量は年々増加

京浜港のコンテナ物流量

5年間で 輸出は1.75倍
輸入は1.63倍

全国輸出入コンテナ貨物流動調査(国土交通省H25)



港のコンテナの受渡しは慢性的な渋滞
【東京港 平均1時間】

東京港各コンテナターミナルにおける海上コンテナ車両待機時間調査
(一般社団法人東京都トラック協会H27.5)

埼玉コンテナラウンドユースで期待される効果

コンテナラウンドユースで効率的な物流

コンテナを港に返却することなく継続して利用

期待される効果

- ①企業の物流効率が向上(荷主・ドレージ)
- ②港での待機時間短縮による労働環境改善(ドレージ)
- ③トラック輸送距離減による環境への配慮(荷主・ドレージ)
- ④港でのコンテナストック過多解消の一助(船会社)
- ⑤企業の生産性が高まり
埼玉県へ 企業立地、既存企業の定着率向上(県)

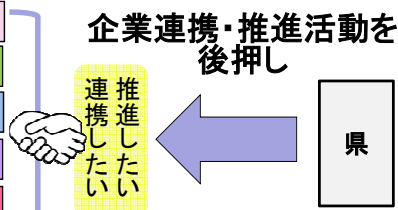
埼玉コンテナラウンドユース推進の仕組



埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会 H26.10.21設立

多社異業種による構成

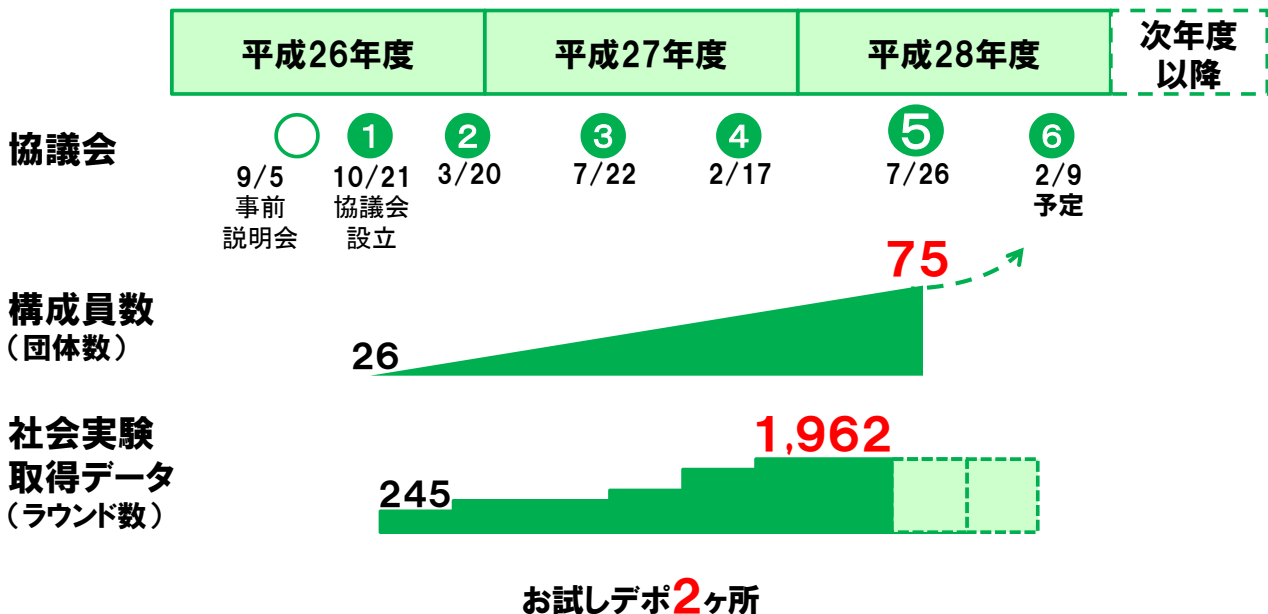
- 輸出・輸入企業(荷主)
- 陸運事業者
- 船会社
- 保険会社
- 金融機関
- その他(コンテナ検査機関等)



構成員75団体(平成28年10月14日現在)
 県、物流関係事業者(荷主、陸運事業者、船会社)
 のみならず保険会社、地元金融機関等が参加

取組
(1) 企業間の情報交流の場を提供 H26.10~
(2) コンテナラウンドユース社会実験 H26.11~H29.1まで実施
(3) コンテナラウンドユースに係る保険制度 H26.10~
(4) コンテナマッチング支援システム H27.1.20~試行
(5) お試しデポ試験運用 H27.8~H29.3

取組の経過状況



社会実験報告件数 と 参加企業数

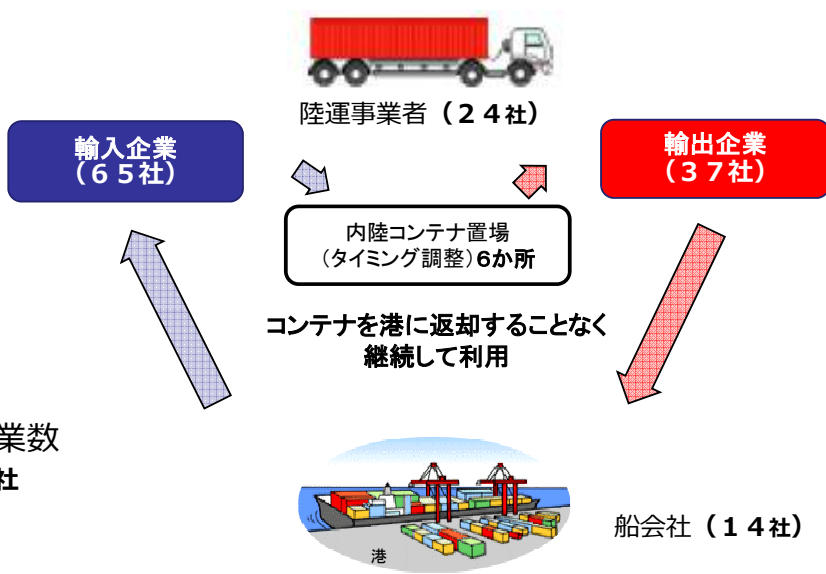
【社会実験】

報告件数 **1,659**件

(内貨転用11件含む)

(H28.1月末までの実績)

1ラウンド：1件



CRUに取り組み企業数
合計 **146**社

埼玉コンテナラウンドユース社会実験 途中経過

効果

■ **コンテナ輸送距離 33.4%減**

平均71.2km減/ラウンドユース1回

コンテナラウンドユース実施前 367,281km → 実施後 245,803km

■ **輸送コスト 21.2%減**

※算定条件 S58タリフ

■ **輸送時間 39.6%減**

平均4.8時間減/ラウンドユース1回

コンテナラウンドユース実施前 19,753時間 → 実施後11,936時間

■ **CO2 130.0トン削減(総計)**

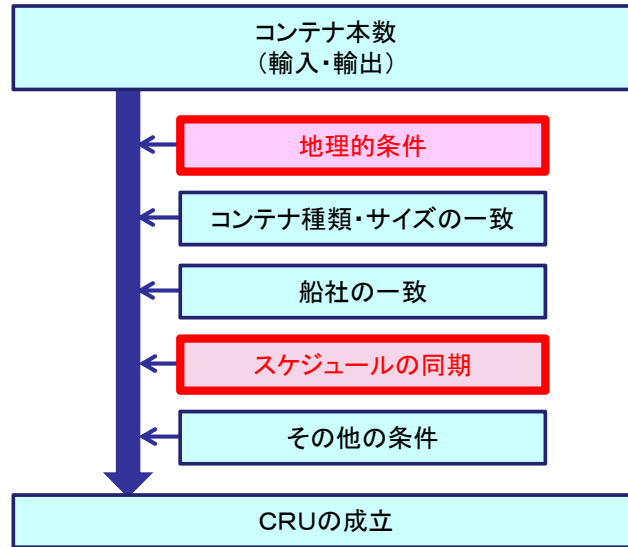
🌲 スギ 9,278本/年 CO2吸収相当

一例



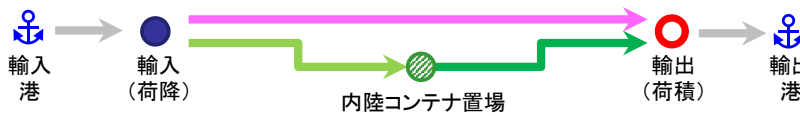
CRUの成立条件

CRUの成立フロー



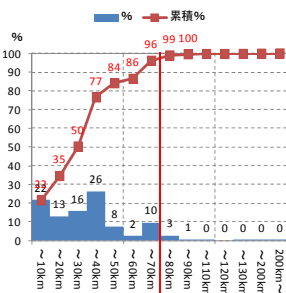
CRUの可能圏域

【社会実験】



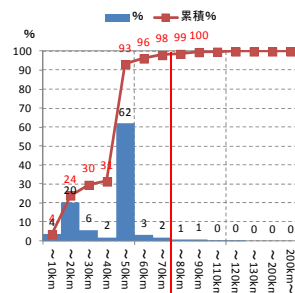
直送型
(輸入荷降→輸出荷積)

平均 29km

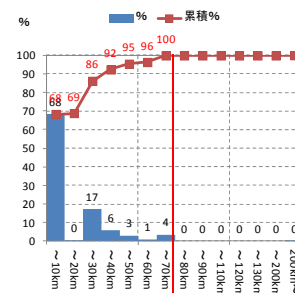


内陸コンテナ置場利用有
(輸入荷降→内陸コンテナ置場) (内陸コンテナ置場→輸出荷積)

平均 38km

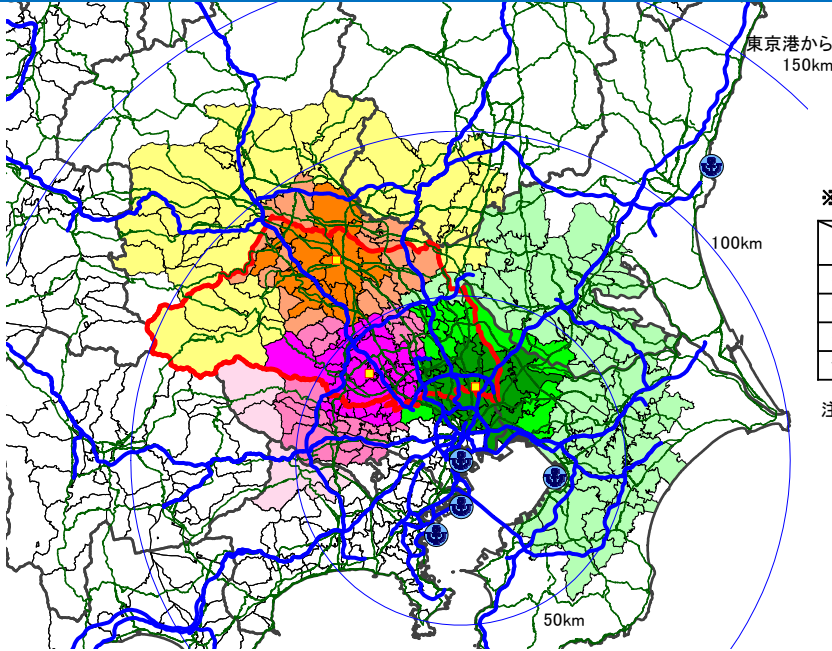


平均 11km



95%が70km以内

CRUの可能圏域

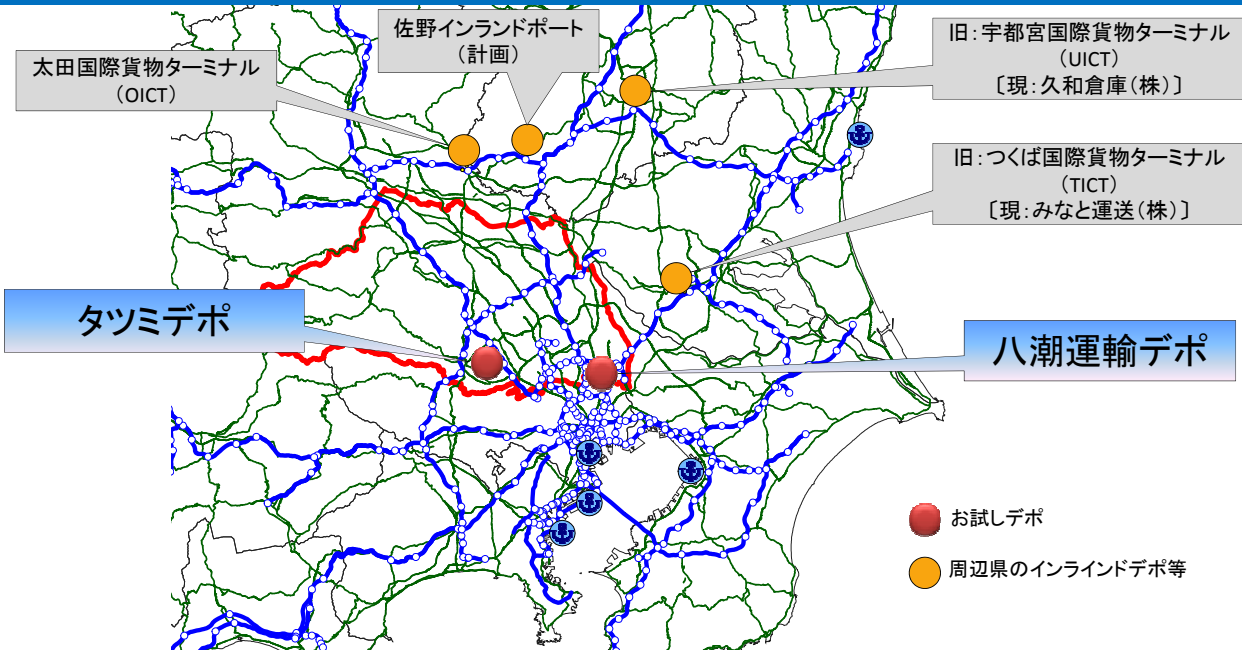


※仮に県内3ヶ所にデポを置いた場合の道路距離圏


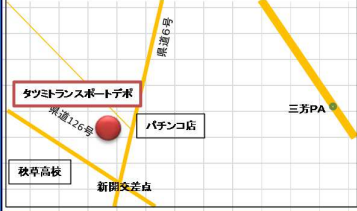
	タツミデポから	八潮運輸デポから	熊谷貨物ターミナル駅から
~20km	黄緑色	緑色	オレンジ色
~30km	緑色	黄緑色	黄色
~70km	黄色	黄緑色	黄緑色
70km~	黄緑色	黄緑色	黄緑色

注：・仮に県内に3ヶ所のデポを置いた場合、各デポを起点として道路距離70km圏内に市区町村役場が含まれる範囲をそれぞれのデポの圏域とした。
 ・なお、東京港からの道路距離の方が近い場合は、除いている。
 ・走行距離は、国土交通省NITAS(全国総合交通分析システム)により、計測。

お試しデポ



タツミデポ(狭山市)

<p>【位置図】</p>  <p>【所在地】 狭山市上赤坂597-3 タツミトランスポート(株)敷地内</p>  	<p>【管理者】 タツミトランスポート株式会社</p> <p>住所: 所沢市下宮857-6 電話: 04-2946-9450(代表) FAX: 04-2946-9460 メール: info@tatsumi-transport.jp</p> <p>【アピールポイント】 創業以来、海上コンテナ輸送のスペシャリストです！</p> <p>【デポの規模】</p> <table border="1"> <tr> <td>・面積</td> <td>5,000 m²</td> </tr> <tr> <td>・コンテナ受入可能数</td> <td>30本</td> </tr> </table> <p>・受入可能コンテナ 近日、積卸可になる予定です。</p> <p>【契約船社】 【契約予定船社】 川崎汽船(株) Pan Ocean コンテナ日本(株)</p> <p>【運用ルール】 「お試しデポ募集要項」によります。 ご利用等のご相談は、上記管理者までお願いします。</p>	・面積	5,000 m ²	・コンテナ受入可能数	30本
・面積	5,000 m ²				
・コンテナ受入可能数	30本				

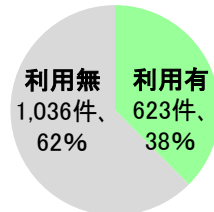
八潮運輸デポ(八潮市)

<p>【位置図】</p>  <p>【所在地】 八潮市西袋416 八潮運輸(株) 敷地内</p>  	<p>【管理者】 八潮運輸株式会社</p> <p>住所: 八潮市西袋416 電話: 048-924-2217 FAX: 048-925-8056 メール: kanehara.yukio@e-yashio.com</p> <p>【アピールポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 埼玉県で港にいちばん近いデポです。 2 ラウンドユースの実績があります。 3 輸出を持っており、輸入とマッチングしやすいです。 <p>【デポの規模】</p> <table border="1"> <tr> <td>・面積</td> <td>760 m²</td> </tr> <tr> <td>・コンテナ受入可能数</td> <td>19本</td> </tr> </table> <p>・受入可能コンテナ オンシャーシのみ</p> <p>【契約船社】 【契約予定船社】 川崎汽船(株) Pan Ocean コンテナ日本(株)</p> <p>【運用ルール】 「お試しデポ募集要項」によります。 ご利用等のご相談は、上記管理者までお願いします。</p>	・面積	760 m ²	・コンテナ受入可能数	19本
・面積	760 m ²				
・コンテナ受入可能数	19本				



【社会実験】

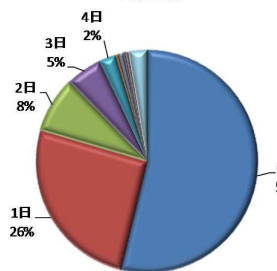
内陸コンテナ置場の
利用状況



荷降日から荷積日間の日数

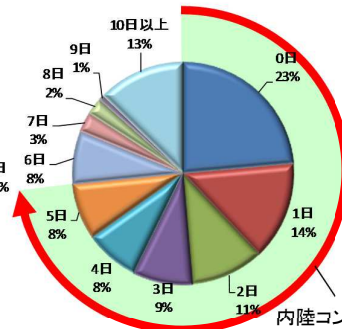


内陸コンテナ置場
・利用無



当日が54%、翌日までで80%

内陸コンテナ置場
・利用有



内陸コンテナ置場での滞留は5日以内が73%

埼玉県コンテナラウンドユース

検索

埼玉県HPからダウンロードできます

- ・埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会 申込書
〈メールにてお申込みいただけます〉
- ・各種取扱い、要綱
- ・平成28年度社会実験 報告様式
〈メールにて報告いただけます〉

問合・提出先

埼玉県 都市整備部 都市計画課 総務・企画担当
電話 048-830-5337(直通)
FAX 048-830-4881
email a5330-07@pref.saitama.lg.jp



埼玉県マスコット「コバトン」